



そよ風



大阪市立大学
医学部附属病院

発行/大阪市立大学医学部附属病院 良質(QC)医療委員会
〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号
TEL 06-6645-2711
http://www.med.osaka-cu.ac.jp/hosp/

2009年8月
第9号



Smile! / Service! / Science! 笑顔の大学病院を目指しています

アートプロジェクト・空庭インスタレーション「風のおみくじ」 ～職員から患者さまへのメッセージ、風に託してお届けします～

今回のアートプロジェクトでは、6階の庭でインスタレーションを行いました。インスタレーションとは、「日頃見慣れた場所や空間を、様々な手法を用いてその構成を変化させ、全体を作品として体験させる芸術」のこと。大阪市立大学都市研究プラザと当院とのコラボレーション事業として、当院の職員園芸ボランティアサークル「もぐら」が、ランドスケープデザイナー花村周寛(はなむら・ちかひろ)さんと詩人上田假奈代(うへだ・かなよ)さんのお二人と一緒に企画したプログラムです。

今回のプログラムでは、まず、職員のみなさんからメッセージを集めました。集まったたくさんの方のメッセージを、上田さんが詩に仕立てます。メッセンジャーに選ばれたのは銀色の風船。「もぐら」が育てた美しい花々や新緑を映して、優雅に風にたなびきます。花村さんが、職員の意見にインスピレーションを得て考案しました。メッセージから仕立てられた詩を「おみくじ」に見立て、風船の赤いリボンに一つ一つに貼り付け(写真1)、庭の植木の小枝に結びました。その数、およそ200個!

風船は、風が強いと植木のベッドで寝ています。しかし風になると、まるで生きているかのように目覚めてゆらりと立ち上がり、とても幻想的(写真2)。小さな子どもは、風船が風に揺らぐたびに大興奮! かわいい歓声を上げます。気に入ったメッセージ風船は、お持ち帰りOK。同室の方のおみやげに、お孫さんやお子さんのプレゼントに、と喜ばれました。追加分も含めて全部で400個ほどの風船を設置したのですが、約10日間で完売♪会場入り口に設置したメッセージボードには、患者さんからお返しの手紙や川柳が書き込まれていました。

ご覧になったみなさま、いかがでしたか? 市大病院では、ただいま、次のアートプロジェクトを準備中です。どうぞ、お楽しみに!



写真1 「おみくじ」と風船に映るお花



風が止まるこ...



写真2 風になると目覚めて立ち上がる風船達

患者さんの メッセージ



「当院の職員の人達 みなさん 立派な詩人です。入院中のたのしみが1つ増えました。」
「青い空 緑の木の葉に 紅リボン」
「一つ一つのメッセージを読んでいくと自然と笑顔になれます。ありがとうございます。」
「風船ふわふわ幸せな気分です。」

理念

私たちは、医学部建学の精神である「智・仁・勇」に基づき市民の健康に寄与する質の高い医療を提供します

こころ豊かで信頼される医療人を育成します

医療の進歩にたゆまぬ努力を続けます

(大学病院の) めざすところ

基本方針

- ・患者本位の安全で質の高い医療を提供します
- ・地域医療の向上に寄与します
- ・健康・予防医学を推進します
- ・最新の高度医療を提供します
- ・人間味豊かな優れた医療人を育成します
- ・新しい診断法・治療法・予防医学の開発を行います
- ・質の高い多彩な研究を推進します

安全管理対策室だより

～安全・安心で、みんな笑顔の病院づくり～

第4回 病気予防は、上手な手洗いから!



夏は暑くて食べ物が傷みやすく、食中毒の起きやすい時期ですね。食中毒を防ぐには、食べ物をよく洗ったり、しっかり火を通すなどの工夫も大切ですが、何より手を洗うことが基本です! 実は「手洗い」は、病気予防の基本中の基本。今話題のインフルエンザだって、夏かぜだって、ウイルスで汚れた手から移ることも多いのです。ウイルスや細菌などの「バイ菌」は、目に見えません。私たちの手は、知らないうちに「バイ菌」だらけになっているのです。

では、どんな時に、手を洗う習慣をつけたらいいのでしょうか? 外から帰ったときや、食事の前、トイレの後はもちろんですね。その他、ドアノブや手すりなど不特定多数の人が使う物・場所に触れた後も必要です。手洗いの習慣をつけておくと、秋以降にまた流行るといわれている新型インフルエンザの備えになります。

マスクを買いに走るより、ずっと効果的・経済的ですよ!



特殊な薬剤を使って、手洗い後の汚れを見えるようにしてみました・・・白く光っている部分が洗い残しです。上手に洗わないと、バイ菌がしっかり残ってしまいます。

石鹸で手を洗おう!

上手な手洗いのポイントを紹介します。あらかじめ濡らした手に石鹸を取り、よく泡立てます。手のひらだけでなく、指先、指の間、親指、手首まで15秒以上かけて洗います。そして、石けんを洗い流したら、清潔なタオルやペーパータオルで水気をふき取り、しっかり乾かします。目に見える汚れがないときは、アルコールの入った手指用消毒剤を使ってもよいでしょう。上手に使い分けて病気を防ぎましょう。



病院の安全は みなさまの健康から

安全管理対策室では、みなさまの健康管理に役立つ情報もお届けしています!



診療科紹介 救急部(救命救急科)

救急生体管理医学
教授 溝端 康光

平成5年に開設された救急部は、重症の救急患者に対し救命救急センターと同等の医療を提供する病院中央部門です。運営の中心となる救命救急科には、日本救急医学会指導医4名、救急科専門医4名を含め、救急医学を専門とする13名の医師が在籍しています。それぞれが、救急医として必要な初期診療、手術、重症患者管理の能力を身につけており、外傷、熱傷、中毒、脳卒中、急性心不全、急性呼吸不全など生命にかかわる救急患者に対し、迅速に救命医療を開始できるようにしています。必要に応じて院内の心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、内視鏡部、冠疾患集中治療部等と連携し、大学病院の救急部門として常に最高の医療を提供することを目指しています。

平成20年度には救急診療のための施設改修が実施されました。病院地下1階の救命救急初期診療エリアには複数の傷病者に同時に対応できる救急処置室(2室)と救急専用手術室が、病院4階には救急専用の集中治療室(ECU:Emergency Care Unit、6床)と、救命救急病棟(12床)が整備されました。今後、より充実した救命救急医療を大阪市民の皆様にご提供していきたいと考えています。

尚、当部への診療依頼は医師あるいは救急隊に限らせて頂いています。一般の救急受診には対応しておりませんのでご理解くださいますようお願いいたします。

ホームページ: <http://www.med.osaka-cu.ac.jp/kyukyubu/index.html>



救急部スタッフ



ECU (救急専用の集中治療室)



救急専用手術室

看護師による静脈注射の実施について

看護師が専門職として社会的責任において安全に静脈注射を実施するために、日本看護協会から「静脈注射に関する指針」が出されました。当院でも昨年度より患者サービスの向上と医師の負担軽減を目標として静脈注射実施に向けての取り組みを開始しました。

医師、看護師、コメディカル中心としたワーキンググループで「静脈注射実施マニュアル」を作成し、スキルスシミュレーションセンターの協力のもと師長・主任・副主任を対象に実技研修を実施しました。

首藤准教授の饒舌な講義と各診療科の医師がインストラクターとして参加し、和気あいあいとした雰囲気で行われました。

この研修を通して、静脈注射実施に向けての不安が軽減し、「早く取り組みたい」と前向きな姿勢に変化しました。

現在は各部署で医師や指導者を中心に実技研修が行われ、静脈注射が安全安楽に実施できるように知識や技術の習得に励んでいます。すでに一部の部署で実施されていますが、今後も「チーム医療」と「患者サービス」の向上を目指し努力したいと思います。



静脈注射の実技研修の様子

患者様の権利

- ・安全で質の高い医療を受ける権利があります
- ・自由意志に基づき治療を選択する権利があります
- ・十分な説明と情報提供を受ける権利があります
- ・セカンドオピニオンを希望される場合は、紹介を受ける権利があります
- ・人の尊厳を尊重した医療を受ける権利があります
- ・医療に関する個人情報やプライバシーが保護される権利があります
- ・健康教育を受ける権利があります

患者の皆様へのお願い

- ・あなたの健康に関する情報は、できる限り正確にお伝えください
- ・病院スタッフの説明がわかりにくい場合は、納得できるまでお聞かせください
- ・診療上必要な指示や助言は、お守りください
- ・他の患者様の権利を尊重し、迷惑がかかることのないようにご配慮をお願いします
- ・治験・臨床試験に、ご協力をお願いします
- ・大学病院の責務である医療人の育成と研究に、ご理解とご協力をお願いします

病院ボランティアを募集しています!!

◆活動内容◆

- ・外来を中心とした患者さまへの院内案内
 - ・車椅子をお使いの患者さまや身体の不自由な患者さまの移動介助
 - ・その他
- ※活動内容に関するアイデアにつきましても、今後考えていきたいと思っています。

◆お問合せ先◆

〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1-5-7
大阪市立大学医学部附属病院
ボランティアルーム
TEL/FAX: 06-6645-2694
E-mail: volunteer@med.osaka-cu.ac.jp
★外来でオリジナルエプロンを着用しているスタッフにお声掛けください。

大阪市立大学医学部附属病院の概要

所在地 〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号 初診受付時間 午前9時～午前10時30分
電話 (06)6645-2121 (代表) 休診日 土・日・祝日、12月29日～1月3日

診療科

総合診療センター、循環器内科、呼吸器内科、膠原病内科、生活習慣病・糖尿病センター、腎臓内科、骨・リウマチ内科、消化器内科、肝胆膵内科、小児科・新生児科、神経精神科、皮膚科、放射線科、放射線治療科、核医学科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、肝胆膵外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、女性診療科(産婦人科)、眼科、耳鼻いんこう科、麻酔科・ペインクリニック科、形成外科、血液内科・造血細胞移植科、老年科、神経内科

※本院は、専門医療を中心に医療を提供していますので、受診するには原則、診療情報提供書(紹介状)が必要です。

